

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京医薬看護専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	くすり総合学科	夜・通信	3, 900 時間	80×2=160 時間	
	医療事務総合学科	夜・通信	【新課程】825 時間	80×2=160 時間	
			【旧課程】630 時間		
	化粧品総合学科	夜・通信	1, 785 時間	80×2=160 時間	
	言語聴覚士科	夜・通信	2, 580 時間	80×3=240 時間	
	視能訓練士科	夜・通信	2, 395 時間	80×3=240 時間	
	臨床工学技士科	夜・通信	【新課程】900 時間	80×3=240 時間	
			【旧課程】720 時間		
	救急救命士科	夜・通信	【新課程】810 時間	80×3=240 時間	
			【旧課程】1, 530 時間		
	視能訓練士科1年制	夜・通信	1, 425 時間	80×1=80 時間	
	医療事務専科	夜・通信	840 時間	80×1=80 時間	
	歯科衛生士科	夜・通信	2, 520 時間	80×3=240 時間	
	看護学科	夜・通信	100 単位	9 単位	
	スキンケアアドバイザー科	夜・通信	765 時間	80×1=80 時間	
	バイオデータサイエンス学科	夜・通信	1, 530 時間	80×4=320 時間	
(備考) バイオデータサイエンス学科：2023 年度学科設置により、現在 1, 2 年生のみ在籍					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上で学科毎にPDFで掲載し公表する

https://www.tcm.ac.jp/school/public_info/education-support.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京医薬看護専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.jikeigakuen.ac.jp/information>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和6年6月1日～ 令和9年5月31日	地元（江戸川区）の 名士として学校と 地域の連携を図る
非常勤	株式会社役員	令和6年6月1日～ 令和9年5月31日	地元（北海道）の名 士として学校と地 域の連携を図る
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京医薬看護専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 【対象学科】 くすり総合学科、医療事務総合学科、化粧品総合学科、言語聴覚士科、視能訓練士科、臨床工学技士科、救急救命士科、視能訓練士科1年制、医療事務専科、歯科衛生士科、看護学科、スキンケアアドバイザー科、バイオデータサイエンス学科 【作成について】 各授業科目について、毎年度、教育課程編成委員会における意見と学科会議での意見を反映させ、対象学生の状況を考慮しつつ、担当教員が作成している。 シラバス作成マニュアルを教員に配布し、科目名、学科・専攻、必修選択別、授業形態、年次、総時間(単位)、担当教員、開講区分、学習内容と心構え、到達目標、使用教科書・教材・参考書、授業外における学習、評価、特記事項を記載し、担当教員の授業計画と意思が伝わるシラバスの作成に取り組んでいる。シラバスは、全学科共通の様式で作成している。公表の際は個人情報保護の観点から、担当教員名は非表示としている。 【時期について】 2月頃に担当教員が作成し、全シラバスの提出、内容をチェックし、修正完了後、電子化による提示とホームページの専用ページでの公開を行う。	
授業計画書の公表方法	ホームページ上で掲載する https://www.tcm.ac.jp/school/public_info/education-support.html

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目の試験により、成績評価を行っている。	
【参考】学則第13条（学習の評価） 授業科目の成績評価は、学年末、各学期末、各科目の開講終了後に行う定期試験（論文、レポートなどを含む）、平素の学習状況（小テスト、中間試験、臨時試験を含む）、出席状況の3要素で総合的に勘案して評価する。評価は「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階をもって評価し、「F」を不合格、その他「D」以上を合格とする。但し授業科目によっては、教育効果等を考慮し、これら以外の表記で成績を表すことができる。定期試験方法、評価方法の詳細は別に定める。	
第2項 第1項の成績評価による学業結果を総合的に判断する指標として、評定平均値、(Grade Point Average) 以下「GPA」という。)を用いる。なおGPAの算出方法、該当科目など詳細は別に定める。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
学内の細目において、GPA (Grade Point Average) を導入し、成績評価として使用している。GPAは生徒の履修した1授業科目あたりの平均成績を指す。本校では、就職の学内推薦枠の候補者選定や学業優秀者の表彰候補者の選出等に活用している。	
学業成績は、授業科目ごとに実施する小テストまたは中間試験、定期試験、平素の学習状況、出席状況の要素で総合的に勘案して評価する。各授業の評価は、100点満点を基準として、60点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100～90点をA、89～80点をB、79～70点をC、69～60点をDとして成績が通知される。各授業の成績評価を規定の数値に置き換えて、1授業あたりの平均成績を算出する。各成績は、A (4.00)、B (3.00)、C (2.00)、D (1.00) に換算する。GPAは、(該当授業科目の単位数×各授業科目で得たGP)の合計／当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計で算出する。成績評価方法は、ホームページにて「成績評価について」で詳細を公開する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ上で掲載する https://www.tcm.ac.jp/school/public_info/education-support.html

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校は「医療」にかかわる人材を育成しており、本校の取り組む「医療」は単に病院や診療施設だけでなく、人間の健康を考える観点から医薬品、環境問題までを含む人材養成を目的としている。

卒業要件として、各学科所定の課程を修了することを定めている。詳細については、ディプロマ・ポリシーをはじめ、学則、学則施行細則、学生便覧等に記載している。また、卒業認定の方針を策定し、ホームページに公表している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページ上で掲載する
https://www.tcm.ac.jp/school/public_info/education-support.html

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	東京医薬看護専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tcm.ac.jp/school/public_info/info.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.tcm.ac.jp/school/public_info/info.html
財産目録	https://www.tcm.ac.jp/school/public_info/info.html
事業報告書	https://www.tcm.ac.jp/school/public_info/info.html
監事による監査報告（書）	https://www.tcm.ac.jp/school/public_info/info.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	くすり総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間	1845 単位時間	255 単位時間	1800 単位時間		
			3,900 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		47 人	3 人	2 人	15 人	17 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照
学修支援等
（概要） 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	1人 (3.4%)	27人 (93.1%)	1人 (3.5%)
（主な就職、業界等） ドラッグストア、保険調剤薬局、製薬メーカー、研究機関			
（就職指導内容） 学内での企業説明会、選考会の実施、履歴書指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） おもてなしマスター検定、登録販売者、調剤報酬請求事務専門士、有機溶剤作業主任者、 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53 人	3 人	5.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、心身不調		
(中退防止・中退者支援のための取組) 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	医療事務総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間	165 単位時間	1125 単位時間	120 単位時間	単位時間	単位時間
			1,710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		41 人	1 人	3 人	12 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照	
学修支援等	
（概要） 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10 人 (100%)	人 (%)	10 人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 総合病院、大学病院、クリニック、薬局、医療情報システムメーカー			
（就職指導内容） 学内での企業説明会、選考会の実施、履歴書指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医療秘書技能検定、電子カルテ実技検定、医師事務作業補助者実務能力認定試験、 IT パスポート、コミュニケーションスキルアップ検定、医事コンピュータ技能検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	化粧品総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,950 単位時間	690 単位時間	270 単位時間	990 単位時間	単位時間	単位時間
			1,950 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		79 人	4 人	2 人	21 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照	
学修支援等	
（概要） 長期欠席者への指導、カウンセリング、3 者面談、個別プログラムでの対応	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
47 人 (100%)	2 人 (4.3%)	45 人 (95.7%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 化粧品メーカー、製品開発企業			
（就職指導内容） 学内での企業説明会、選考会の実施、履歴書指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 化粧品総括製造販売責任者、有機溶剤作業主任者、アロマセラピー検定、 日本化粧品検定、色彩検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
93 人	7 人	7.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、心身不調		
(中退防止・中退者支援のための取組) 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	言語聴覚士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2, 835 単位時間	2160 単位時間	195 単位時間	180 単位時間	単位時間	単位時間
			2, 835 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		102 人	0 人	5 人	35 人	40 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照	
学修支援等	
（概要） 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31 人 (100%)	人 (%)	23 人 (74.2%)	8 人 (25.8%)
（主な就職、業界等） 総合病院、リハビリテーション病院、老人保健施設、小児施設			
（就職指導内容） 学内での企業説明会、選考会の実施、履歴書指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 言語聴覚士、コミュニケーションスキルアップ検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
94 人	8 人	8.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、心身不調		
(中退防止・中退者支援のための取組) 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	視能訓練士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼		1275 単位時間	135 単位時間	1135 単位時間	単位時間	単位時間
			2, 545 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		78 人	0 人	6 人	33 人	39 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照	
学修支援等	
（概要） 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35 人 (100%)	人 (%)	33 人 (94.3%)	2 人 (5.7%)
（主な就職、業界等） 総合病院、大学病院、眼科クリニック			
（就職指導内容） 学内での企業説明会、選考会の実施、履歴書指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 視能訓練士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102 人	5 人	4.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更、心身不調		
(中退防止・中退者支援のための取組) 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床工学技士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2, 535 単位時間	1995 単位時間	30 単位時間	510 単位時間	単位時間	単位時間
			2, 535 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		75 人	0 人	4 人	16 人	20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照	
学修支援等	
（概要） 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のチュードントサポートセンターの活用 等	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34 人 (100%)	人 (%)	29 人 (85.3%)	5 人 (14.7%)
（主な就職、業界等） 総合病院、大学病院			
（就職指導内容） 学内での企業説明会、選考会の実施、履歴書指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 臨床工学技士、第2種ME技術実力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
97 人	1 人	1.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	救急救命士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3,180 単位時間	915 単位時間	1140 単位時間	1125 単位時間	単位時間	単位時間
			3,180 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		125 人	0 人	3 人	17 人	20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照	
学修支援等	
（概要） 長期欠席者への指導、カウンセリング、3者面談、個別プログラムでの対応	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36 人 (100%)	人 (%)	34 人 (94.4%)	2 人 (5.6%)
（主な就職、業界等） 消防庁、消防署、総合病院、大学病院			
（就職指導内容） 学内での企業説明会、選考会の実施、履歴書指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 救急救命士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
125 人	7 人	5.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、心身不調		
(中退防止・中退者支援のための取組) 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	視能訓練士科 1 年制					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
1 年	昼	1,485 単位時間	750 単位時間	単位時間	735 単位時間	単位時間	単位時間	
			1,485 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30 人		18 人	0 人	2 人	15 人	17 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照	
学修支援等	
（概要） 長期欠席者への指導、カウンセリング、3 者面談、個別プログラムでの対応	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100%)	人 (%)	17 人 (89.5%)	2 人 (10.5%)
（主な就職、業界等） 総合病院、大学病院、クリニック			
（就職指導内容） 学内での企業説明会、選考会の実施、履歴書指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 視能訓練士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	1 人	5.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	医療事務専科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	840 単位時間	240 単位時間	480 単位時間	120 単位時間	単位時間	単位時間
			840 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		19 人	0 人	2 人	12 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照	
学修支援等	
（概要） 長期欠席者への指導、カウンセリング、3 者面談、個別プログラムでの対応	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31 人 (100%)	1 人 (3.2%)	21 人 (67.8%)	9 人 (29.0%)
（主な就職、業界等） 総合病院、大学病院、クリニック			
（就職指導内容） 学内での企業説明会、選考会の実施、履歴書指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定、診療報酬請求事務能力検定、 電子カルテ実務能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	4 人	11.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、心身不調		
(中退防止・中退者支援のための取組) 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	歯科衛生士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼		1170 単位時間	525 単位時間	900 単位時間	単位時間	単位時間
			2, 595 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		215 人	0 人	12 人	37 人	49 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照	
学修支援等	
（概要） 長期欠席者への指導、カウンセリング、3 者面談、個別プログラムでの対応	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38 人 (100%)	人 (%)	38 人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 歯科医院			
（就職指導内容） 学内での企業説明会、選考会の実施、履歴書指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科衛生士、口腔ケア検定、上級救命講習			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
192 人	12 人	6.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、心身不調		
(中退防止・中退者支援のための取組) 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科【単位制】	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	106 単位	83 単位	単位	23 単位	単位	単位
			106 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		114 人	2 人	12 人	59 人	71 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照
学修支援等
（概要） 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 2022 年度学科設置のため、該当なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84 人	2 人	2.4%
(中途退学の主な理由) 心身不調		
(中退防止・中退者支援のための取組) 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	スキンケアアドバイザー科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	810 単位時間	510 単位時間	210 単位時間	120 単位時間	単位時間	単位時間
			840 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		19 人	0 人	1 人	6 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照	
学修支援等	
（概要） 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16 人 (100%)	人 (%)	12 人 (75.0%)	4 人 (25.0%)
（主な就職、業界等） 化粧品メーカー等			
（就職指導内容） 学内での企業説明会、選考会の実施、履歴書指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本化粧品検定、美容総合検定、全国化粧品販売員検定、スキンケアアドバイザー			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	3 人	15.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更、心身不調		
(中退防止・中退者支援のための取組) 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	バイオデータサイエンス学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3, 915 単位時間	1605 単位時間	360 単位時間	2040 単位時間	単位時間	単位時間
			4, 005 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		22 人	1 人	3 人	11 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照	
学修支援等	
（概要） 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 2023 年度学科設置のため、該当なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	2 人	12.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、心身不調		
(中退防止・中退者支援のための取組) 導入教育、定期面談、補習、保護者との連携、保護者会の開催、関係部署との連携 学園内のスチューデントサポートセンターの活用 等		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

単位：円

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考 (任意記載事項)
くすり総合学科	100,000	846,000	255,000	
医療事務総合学科	100,000	846,000	204,000	
化粧品総合学科	100,000	846,000	255,000	
言語聴覚士科	100,000	1,183,000	255,000	
視能訓練士科	100,000	1,183,000	234,000	
臨床工学技士科	100,000	1,275,000	234,000	
救急救命士科	100,000	1,000,000	255,000	
視能訓練士科1年制	100,000	1,183,000	255,000	
医療事務専科	100,000	693,000	204,000	
歯科衛生士科	100,000	816,000	234,000	
スキンケアアドバイザー科	100,000	846,000	285,000	
看護学科	100,000	1,000,000	300,000	
バイオデータサイエンス学科	100,000	850,000	450,000	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.tcm.ac.jp/school/public_info/info.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。 委員会は、毎年実施し、その結果を理事会に報告するとともに、情報公開規定に基づき学内外に開示するものとする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
病院 事務員	令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年）	業界代表
病院 事務員	令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年）	業界代表
企業 代表	令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年）	業界代表
企業 人事担当	令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年）	業界代表
高等学校 職員	令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年）	高校関係者代表
町会 役員	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	地域代表
在校生 保護者	令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年）	保護者代表
病院 事務員	令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年）	卒業生代表

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.tcm.ac.jp/school/public_info/info.html
第三者による学校評価 (任意記載事項)
平成27年3月31日に実施済み

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.tcm.ac.jp/school/public_info/info.html
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113312300110
学校名（〇〇大学 等）	東京医薬看護専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人 滋慶学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		73人	62人	135人
内 訳	第Ⅰ区分	73人	62人	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				—
合計（年間）				226人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	—
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	—
「警告」の区分に連続して該当	—	0人	0人
計	—	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下）	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	22人	0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	—	0人
計	22人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。